

第4回 合同役員会 議事録

平成24年4月1日

日時：平成24年3月24日(土) 14:45~16:30

場所：東海大学同窓会館 3F 東海大学出版会会議室

出席者：OB会／吉田、佐藤（一）、佐藤（貴）、今宮

現役／大友暢祥、村岡貴文、中川健人、坂井草太郎、安達洋平、小村りさこ、山地健
(敬称略)

議題

1. 会長挨拶 吉田邦行（副会長が代行）
2. 委員長挨拶（現役）大友暢祥（副委員長が代行）
3. 役員自己紹介 OB並びに現役
4. 意見交換
 - ・OB会会費徴収について（内容確認）
 - ・第6回 OB会総会について（案）
5. OB会との連絡確認
 - ・OB会からのお願い
6. 名簿管理について
7. HPアクセス状況
8. その他

1. 吉田副会長が会長に代わっての挨拶で、現在のOB会における会員数の推移、会の趣旨等の説明がなされた。
2. 現役委員長も欠席のため大友副委員長が放送研究部の歴史の長さを認識したことや後一年で活動から離れてしまうことに少し寂しさを感じている事などを話した。
3. まずOBから自己紹介し、続いて現役が自己紹介した。

4. 意見交換

・会費徴収について

①卒業時在籍の部員は自動的にOB会会員となる

②新卒OB会会員の会費徴収方法を決定する

上記①は確認され、②は以下の2案を検討することとなった。

- ・部費の徴収時に¥2,500を適宜按分して徴収、卒業時に在籍部員数分をOB会へ納付する。
- ・卒業時に一括徴収（¥2,500）しOB会へ納付する。

◎現役役員からは、案分徴収の方が負担感が少ないとの意見があった。

※以上の点につき双方から活発な意見が出され、現役4年生の活動参加？に話題が発展した。

これらを踏まえて、現在の部則には無い卒業と同時にOB会に入会という項目や、OB会の徴収方法を明文化し、部員全員に周知徹底する。なお、部則改訂に伴い、現役4年生の“議決権”を含め、地位をより現役に近くし、卒業（大学を）するまで部員であることの認識を明確化すればOB会へのスムーズな入会が可能となるのではないか？との意見を申し添えた。

・第6回 OB会総会について

- ・日時：平成24年9月22日（土） 前回の役員会にて決定済み
- ・場所：東海大学代々木校舎（予定）
- ・講演予定：渡辺敏之氏（東北放送ラジオ局編成制作部次長）
（交渉は提案のあった坂代氏に依頼予定）

上記案を報告し、現役の委員長およびOB会連絡担当の2名を招待する旨を説明した。また、今回の講師はメディアの現場に携わっておられる方を予定しているので現役部員の参加も歓迎することを伝えた。

5. OB会との連絡確認

OB会としては事務局を中心として各種お知らせやお願いを連絡しているが、現役諸氏からのレスポンスが少々遅いようなので、可能な限り早いレスポンスをお願いした。特に、打ち合わせの日程では、複数の候補を挙げて連絡をもらうようお願いした。連絡用に、YAHOO ボックス等を活用することが提案された。

6. 名簿管理について

OB会名簿の現状

- ・卒業年度および氏名の登録数 591名
- ・OB会正会員数 70名
- ・住所登録確認数 368名
- ・名簿管理用ツールは作成済み

・OB会役員には管理用ツールの説明会開催済み

以上を報告の上今後の対応として以下の通りとする。

- ・現役からOB各位への郵送連絡時はOB会から宛名シールの提供を受ける。

（Air TBCの発送が直近の予定となる）

- ・最近（4～5年）の卒業OBで名簿に住所が登録されていない方がかなり多いので早急に確認し、住所の登録をすることで名簿を充実させる。
- ・現役からOBへの郵送連絡時、宛先不明により返送された場合又は何らかの返信があった場合は、OB会へ通知し、名簿に反映させる。
- ・現役の1年～4年まで全員の名簿を作成し現住所と実家住所を記載し卒業後の連絡先などが確保できるようにしておく様依頼した。
- ・建学祭など行事の時記帳の用紙に工夫をする。

7. HPアクセス状況

- ・OB会HPは昨年の創部55周年記念式典直前は月間1,000件を超えるアクセス数が記録されたが、その後少なくなり400件前後のアクセスで推移している。その原因は投稿が少ない為ではないかと思われるので、より多くの投稿をお願いする。
- ・放送研究部のHPがリニューアルされてその後OB会HPへのリンクが設定されていないのでOB会HPへのリンク設定を依頼した。